

これからもお元気で！ 100歳高齢者を市長が表敬訪問

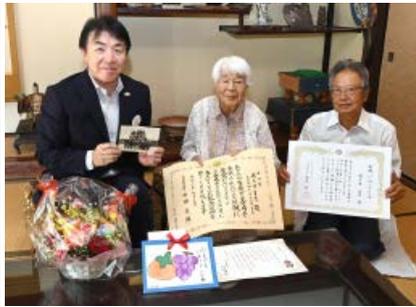
SCENE 1



花を受け取る渡辺さん



お祝い状を贈呈される佐々木さん



多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うことを目的に、9月24日、藤田剛二市長が100歳を迎えるお二人の高齢者を表敬訪問しました。

【渡辺フミ子さん】

入所している施設で多くの関係者に見守られる中、お祝い状等が贈呈されました。渡辺さんは少し緊張された様子でしたが、「今日があるのもみなさんのおかげ」と感謝を述べられました。

【佐々木百代さん】

佐々木さんのご自宅でお祝い状等が贈呈されました。佐々木さんは以前小学校の教諭を務めており、市長は元教え子。市長が持参した当時の写真をご覧になり、懐かしんでおられました。

市長は「これからも元気に笑顔でお過ごしください」と話しました。

花づくりを通して地域の結びつきを強めることを目指した「花いっぱい運動」。市はその一環として毎年春と秋に「花壇コンクール」を実施しています。今秋も25団体（個人を含む）が参加し、自慢の花壇を披露しました。最優秀賞を受賞されたのは、①小野田地域交流センター（一般の部）、②出合小学校（学校の部）、③野村節さん（個人の部）です。今回の受賞で、小野田地域交流センターと野村節さんは、令和2年度以降通算3回最優秀賞を受賞されたことから、市の「モデル花壇」に指定されました。10月8日には今春モデル花壇に指定された高泊小学校で表彰式が行われ、各受賞者に表彰状が授与されました。市ホームページでは受賞者の花壇をカラーで紹介しています。



① 小野田地域交流センター

敷地内5つの花壇に合計30～40種類の花。来所者が見てくれるのが励み。



② 出合小学校

開校150周年にちなんで「D」の文字をデザイン。児童が毎日お世話しました。



③ 野村節さん

独学で花壇のデザインを勉強。花の色や背丈もこだわって配置されていました。



令和6年度秋の花壇コンクール表彰式

SCENE 2

猛暑を乗り越え咲いた花々 秋の花壇コンクール